

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	PI3K 阻害剤のプロドラッグ化による新規肉腫治療薬開発に関する研究
代表機関名	公益財団法人がん研究会
研究開発代表者名	旦 慎吾
全研究開発期間	令和3年度 ～ 令和7年度（予定）

1. 研究開発成果（公開用）

中間報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000120233.pdf>

2. 総合評価

- ・良い

【評価コメント】

臨床情報に基づいて、先行開発薬の肉腫細胞への効果と有害事象に対する PI3K アイソザイム選択性の影響について、in vitro および動物モデルで多岐にわたって検討を進めている。活性代謝物の血中動態を改善するプロドラッグ開発は進展し、候補化合物を2種に絞込む戦略ができており、中間評価時点としては十分な進捗であり、評価される。

広い治療濃度域の根拠となる抗がん作用と有害事象の出現との解離をより適切な形で検証できるよう、PI3K アイソザイムへの阻害活性／PKPD 変化と臨床結果の関係をさらに考察し研究開発を進めること。

以上